

ノリ養殖環境速報 KH-05-02 (播磨灘)

令和5年11月13,14日 調査
 令和5年11月14日 発行

【概況と今後の動向見込み】

表層のDIN濃度は、東部海域では概ね2~4 $\mu\text{mol/L}$ 、西部海域では概ね1~3 $\mu\text{mol/L}$ で、河口付近では高くなっています。

大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーは全域で増加しており、特に相生以西で多くなっています。

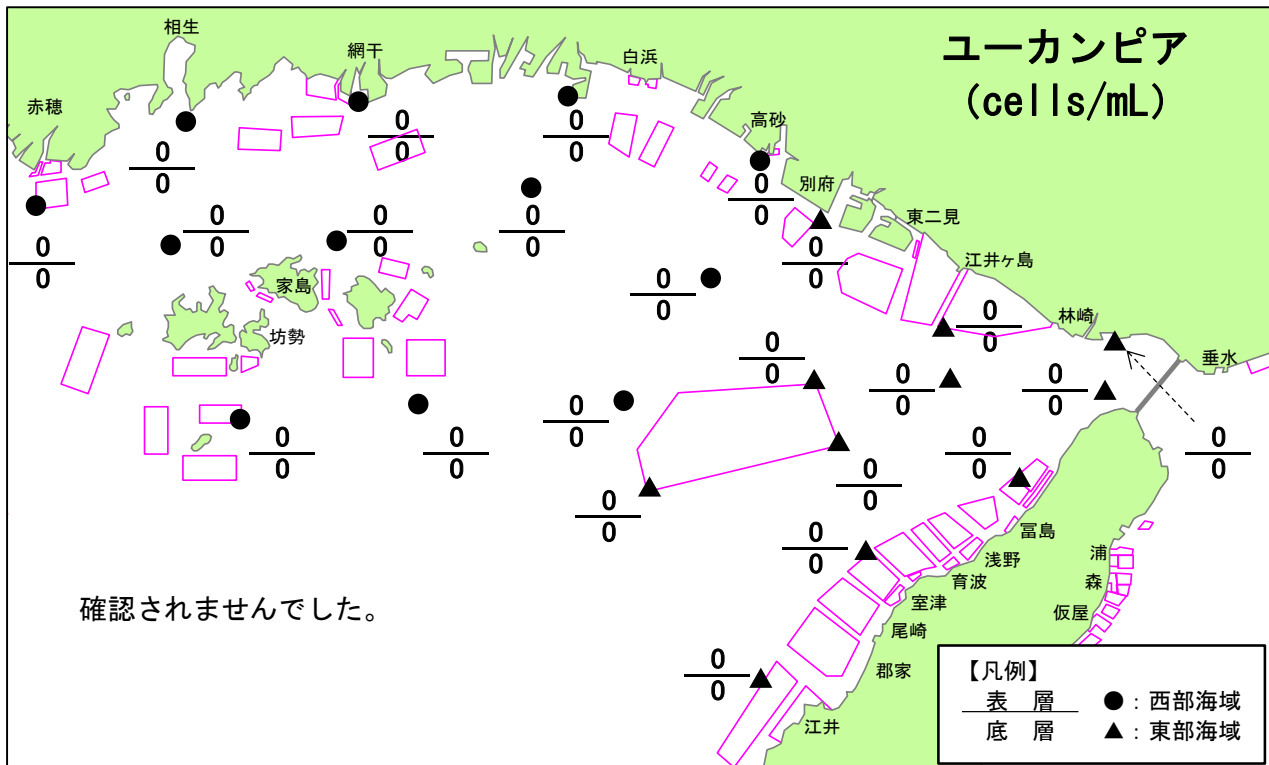
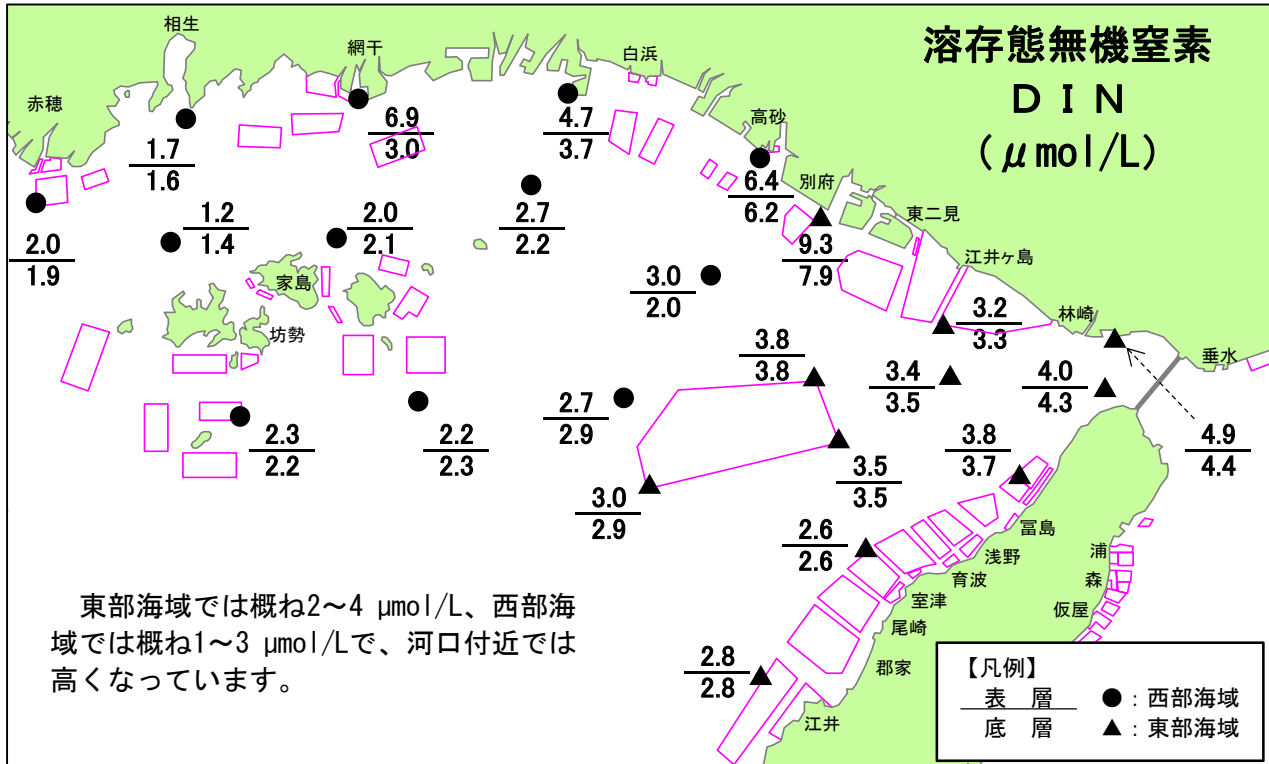
今後の海域の栄養塩濃度は現状維持か、まとまった降雨があれば増加すると考えられます。

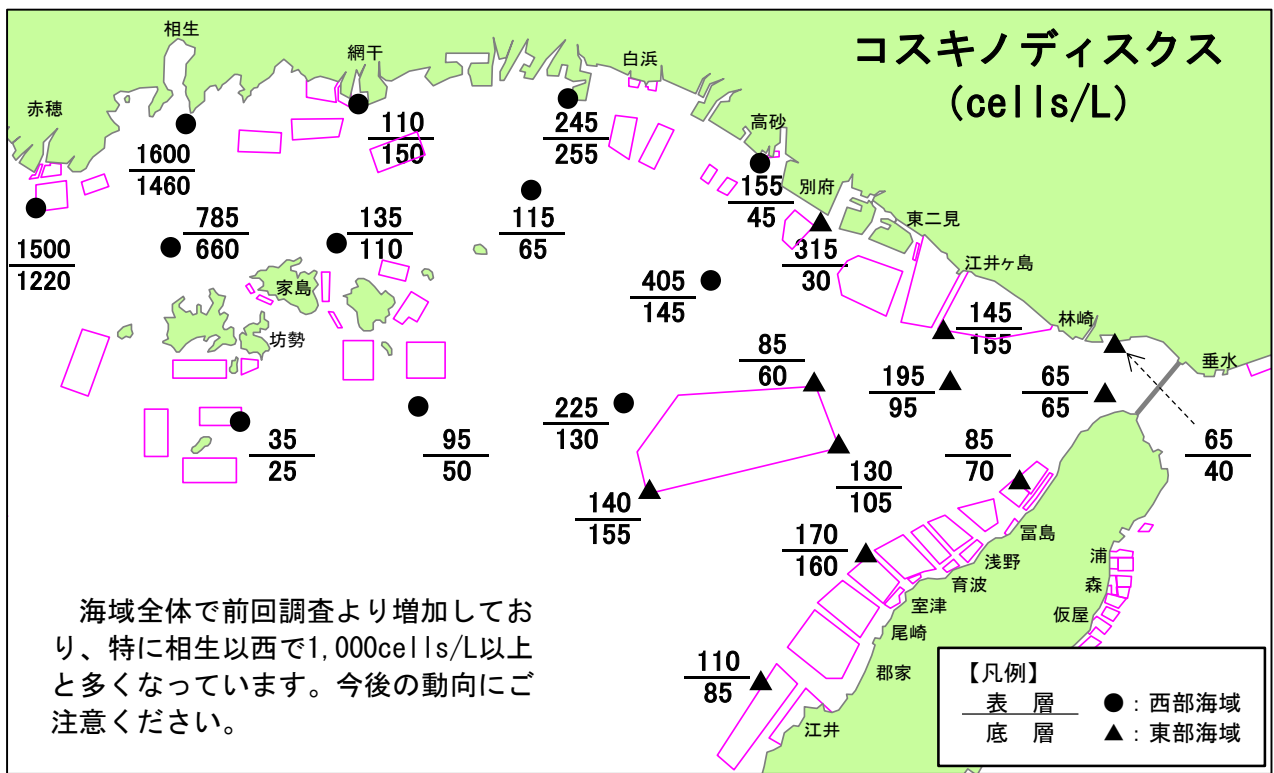
- ・兵庫県の情報: <http://www.hyogo-suigi.jp/>
- ・岡山県の情報: <https://www.pref.okayama.jp/page/880806.html>
- ・香川県の情報: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

【次回】 令和5年11月21日発行予定
 【参考】 栄養塩の単位
 $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【表層水温(°C)】

白浜以西: 19.7 ~ 20.6, 家島諸島周辺: 20.4 ~ 21.3, 江井ヶ島・高砂周辺: 20.0 ~ 20.8, 明石海峡付近・西浦: 20.5 ~ 20.8, 鹿ノ瀬周辺: 20.5 ~ 20.8





海域全体で前回調査より増加しており、特に相生以西で1,000cells/L以上と多くなっています。今後の動向にご注意ください。

